

水戸赤十字病院麻酔科後期臨床研修プログラム

1. プログラム名称

水戸赤十字病院麻酔科後期臨床研修プログラム

2. 研修期間

2年間または4年間

3. 研修について

1) 目的

初期臨床研修を修了後、麻酔科を専門領域として希望する医師に対して、麻酔科として必要な知識、技能などを習得させる。

4年間の研修では、常に冷静に患者の状態を観察し危機的状況に対しても適切に判断を下し、手術室全体をマネジメント出来る能力を習得する事を目標とする。また、夜間の緊急手術に対して一人で麻酔が出来るようになることを目標とする。さらに2年後の日本麻酔科学会麻酔専門医の取得を視野に入れて学術知識の充足を目指し、指導医申請に必要な学会発表（プレゼンテーション）ができるようになることを目標にする。

短期間（2年間）の研修を希望する者は麻酔科標榜医取得を目標とする。

2) 到達目標

- ① 迅速な麻酔の導入
- ② 速やかな覚醒・抜管
- ③ 動脈ラインの挿入
- ④ CVラインの挿入
- ⑤ 硬膜外カテーテルの挿入
- ⑥ 適切な術中麻酔管理（予定手術）
- ⑦ 緊急手術に対する迅速・的確な麻酔
- ⑧ 学術発表
- ⑨ 術前評価
- ⑩ ペインクリニック

4. 研修コース責任者

第2麻酔科部長 横須賀 聡 （日本麻酔科学会指導医、同学会専門医）

5. 診療科の指導体制

1) 医師数合計3人

根本 邦夫 第一麻酔科部長

日本麻酔科学会指導医、同学会専門医、日本ペインクリニック学会専門医

横須賀 聡 第二麻酔科部長

日本麻酔科学会指導医（研修コース責任者）、同学会専門医

根本 英徳 第一麻酔科副部長

日本麻酔科学会指導医、同学会専門医、日本ペインクリニック学会専門医

6. 募集

1) 募集人数1名

2) 募集方法 募集要項参照

7. 研修の概略

共通)	<ul style="list-style-type: none"> On call について <ul style="list-style-type: none"> 1年目は on call は「なし」とする。ただし、担当症例終了まで勤務。 2年目は指導医の on call に付いて1ヶ月に平日に6日間、週末（金、土、日連続でセット）1回の合計9日間を行う。On call の日日は自分の都合の良い日に自由に選択する。 3年目から First name で on call を行う。ただし、緊急手術に呼ばれた場合必ず指導医に連絡を入れ自分一人に対応できない場合は指導医に来てもらえるようにしておくこと。（指導医の誰かがバックアップ） 4年目はバックアップ無しで on call に対応する。
1 年 目)	<ul style="list-style-type: none"> リスクの少ない (PSI~II) 患者の予定手術の麻酔が出来るようになる事を目標にする。 研修3ヶ月過ぎから下部胸椎・腰部からの硬膜外カテーテル挿入を習得する。 Radial artery からの動脈ライン挿入を習得する。 外頸静脈からの静脈ライン挿入を習得する。 術中使用する主な麻酔薬の使い方を習得する。
2 年 目)	<ul style="list-style-type: none"> 新生児・乳児、帝王切開、大血管手術を除く予定手術の麻酔が出来るようになる事を目標にする。 2年目からは胸部硬膜外カテーテルの挿入を習得する。 内頸静脈から CVP ラインの挿入を習得する。 フルストマック患者の意識下挿管の習得。 学会発表のためのプレゼンテーションが出来るようにする。
3 年 目)	<ul style="list-style-type: none"> 特別な疾患を合併症に持つ患者の麻酔やリスクの高い患者の麻酔が出来るようになることを目標とする。 腹部大動脈瘤などの大血管の麻酔が出来るようになることを目標にする。 当院では心臓血管外科（人工心肺を使用する）が無いので、院長の許可を得て、他院で心臓血管外科麻酔の麻酔を研修することが望ましい。（年間を通して、週1日） 帝王切開（予定手術）の麻酔を習得する。 夜間緊急手術麻酔にも一人に対応する。（バックアップあり） 指導のもとに awake fiber 挿管を習得する。 学会発表のためのプレゼンテーションが出来るようにする。
4 年 目)	<ul style="list-style-type: none"> 全ての症例に対し、一人で麻酔が出来るようになることを目標とする。 星状神経節ブロックについて理解しブロックを出来るようにする事を目標にする。 手術室外での麻酔に対応できるようになることを目標にする。 症例報告程度のプレゼンテーションは一人で出来るようになることを目標とする。 on call においても一人に対応する。（バックアップなし）

〔取得可能な専門医資格〕

麻酔科標榜医

日本麻酔科学会麻酔専門医

日本麻酔科学会麻酔指導医

日本ペインクリニック専門医

7. 後期研修以降の進路

- 当病院に引き続き勤務希望の場合、病院選考を経て決定。
- 当科研修終了後、他院で勤務することも可能。